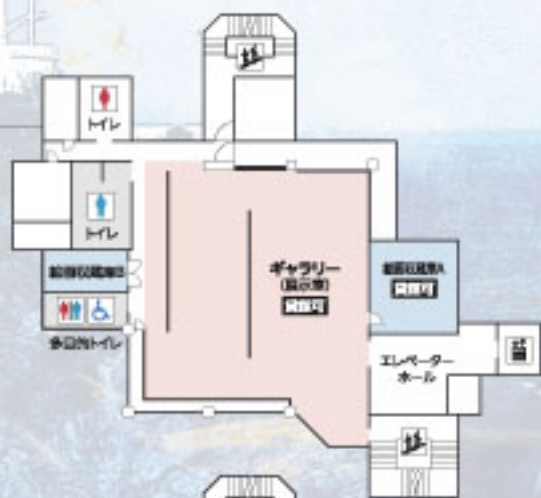


3F



2F



1F



## 3F 平賀亀祐記念館

常設展

志摩市(志摩町片田)出身の洋画家・平賀亀祐は、世界最古の伝統を持つ国際展(ル・サロン)で日本人初の金賞を受賞し、アカデミックといわれるほどに画風を忠実に追求しようというその画風で高い評価を受けました。当美術ギャラリーではその功績を称え、絵画や生前使用していた愛用品などを展示しております。

■展示作品・展示物(一部)



[Saumon Sale]

1961年



[寺院とユール河]

1959年

生前使用していた  
脚付道具

自分が選んだただ一本の釘だけを、いっしょうけんめいに叩け。  
まわりに、どんなにおもしろい釘や変わった釘があらわれても、その誘惑に乗らずに、あくまでも自分が選んだ釘を打ちつけていくことだ。  
そうしてこそ、初めて他人がまねることもできない深みにまで達しられる。「一本の釘」より。

ひらがまめすけ  
平賀 亀祐 (1889-1971)

- 明治22年(1889) 三重県志摩郡片田村に生まれる。(9月25日)
- 明治39年(1906) 移民としてアメリカに渡る。(16歳) サンフランシスコ美術学校に入学。
- 大正4年(1915) 美術学校を卒業。(25歳)
- 大正14年(1925) フランスに渡る。(36歳)
- 大正15年(1926) 国際展(ル・サロン)に《扇を持つ婦人》で初入選。
- 昭和9年(1934) ル・サロンで銅賞を受賞。(45歳)
- 昭和13年(1938) ル・サロンに《塩鮭》で日本人初の銀賞を受賞。(49歳)
- 昭和29年(1954) ル・サロンに《古い日里の街角》で金賞と、風景部門一位のコロア賞を受賞。フランス政府よりレジオン・ドヌール勲章(芸術文化勲章)を贈られる。(65歳) ※金賞・コロア賞は日本人初
- 昭和30年(1955) 約50年ぶりに凱旋帰国。(66歳)
- 昭和36年(1961) 日仏の文化交流と松方コレクションの返還に尽力した功績が認められ勲三等旭日章を受章。組経表章を受章。
- 昭和40年(1965) 第一回三重県県民功労者として表彰。
- 昭和45年(1970) 伝記「一本の釘」出版。
- 昭和46年(1971) パリの自宅で永眠。(11月5日 82歳) 勲三等旭日中級章が追贈される。

(※宮内省古物資料から抜粋)

## 2F ギャラリー(展示室)

企画展

大王大賞展の優秀作品をはじめとする市が所有する絵画を活用し、年数回の展示替えを行います。また、貸しギャラリーとして成果発表の場を提供します。

■展示作品(一部)

[生きるⅡ]  
(第2回大王大賞作品)[舞臺]  
(第6回大王大賞作品)[陽だまり図]  
(第7回大王大賞作品)

絵画の展示は、  
市が所有する絵画を活用し、  
年数回の展示替えを行います。

## 絵かきの町・大王 絵画展 大王大賞展

開催年度	開催年度(奇数年)
テーマ	志摩市大王地域の風景及び民俗、祭り、行事等で地域の特色を取り入れたもの。
趣 旨	全国の画家や絵師を愛好する人の作品を公募・展示することにより、美術愛好者の交流の場の提供と、市民の文化意識の向上及び地域の振興を図ります。

開催年度、テーマ、趣旨等は、予告せず変更される場合がありますので、詳しくは、募集要項をご覧ください。下記の手続きまでお問い合わせください。

■「大王大賞展」に関するお問い合わせは  
絵かきの町・大王実行委員会事務局 Tel 0599-72-0789  
〒517-0603 三重県志摩市大王町後切490-3 志摩市観光協会大王支部内  
<http://www.kanko-shima.com/>

貸館について

[貸館場所] 2階:ギャラリー(展示室)・絵画収蔵庫A 3階:会議室・アトリエ

※事前の手続きが必要ですので、当美術ギャラリーまでお問い合わせください。